

# 要 覧

森の展示館



研究本館

共同実験棟



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所 九州支所

## 九州・沖縄地域の森林の持続的活用と生物多様性保全を目指して

九州・沖縄の面積はわが国全体の1割程度ですが、長崎県対馬島の北緯35度から沖縄県波照間島の北緯24度まで、南北に1,100 km以上の広がりを持ち、暖温帯域と亜熱帯域にまたがった気候条件の下で様々な樹木や生物が分布しています。特に、南西諸島では貴重な野生生物が多く生息しています。

一方、九州には膨大な人工林資源があります。今後も木材生産やシイタケなどの生産で山村地域の再生を図っていく必要があります。

しかし、九州は台風や集中豪雨、活発な火山活動に伴う自然災害が発生しやすい地域でもあります。このような地域特性や背景のもと、当支所では林業の持続的な発展や多様な森林の持続的管理を目指した研究を行っています。



熊本県金峰山自然公園に指定されている立田山の南斜面に位置しています。

### 九州支所の沿革

- 1947年(昭22)農林省林野局林業試験場熊本支場設立
- 1954年(昭29)熊本市黒髪に移転
- 1988年(昭63)森林総合研究所九州支所に改称
- 2001年(平13)独立行政法人森林総合研究所九州支所
- 2015年(平27)国立研究開発法人森林総合研究所九州支所
- 2017年(平29)国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所九州支所

### 九州支所の組織

- 支所長
- 産学官民連携推進調整監
- 育種調整監 (九州育種場長併任)
- 地域研究監
- 地域連携推進室
- 総務課
- チーム長
- 森林生態系研究グループ
- 山地防災研究グループ
- 森林微生物管理研究グループ
- 森林動物研究グループ
- 森林資源管理研究グループ

## 森林生態系研究グループ



生態系機能に配慮した森林管理技術の開発と、森林土壌の物質貯留機能や水質浄化機能の解明について研究を行っています。

## 山地防災研究グループ



森林の環境維持機能及び防災機能を活かしつつ、山地で発生する災害の軽減について研究を行っています。

## 森林資源管理研究グループ



森林経営や森林管理について研究を行っています。

## 森林微生物管理研究グループ



森林や緑化樹木の衰退につながる樹木病害、食用きのこの新品種開発、菌根性きのこ(トリュフ)の生産について研究を行っています。

## 森林動物研究グループ



森林に悪影響を及ぼす鳥獣や昆虫の生態の解明と防除、絶滅のおそれのある種や生物多様性の保全について研究を行っています。

# 九州支所の広報活動のご案内

## 主な刊行物

九州支所年報 (ONLINE ISSN 2187-8773)  
九州の森と林業 (ISSN 1346-5686)

## 市民向け活動

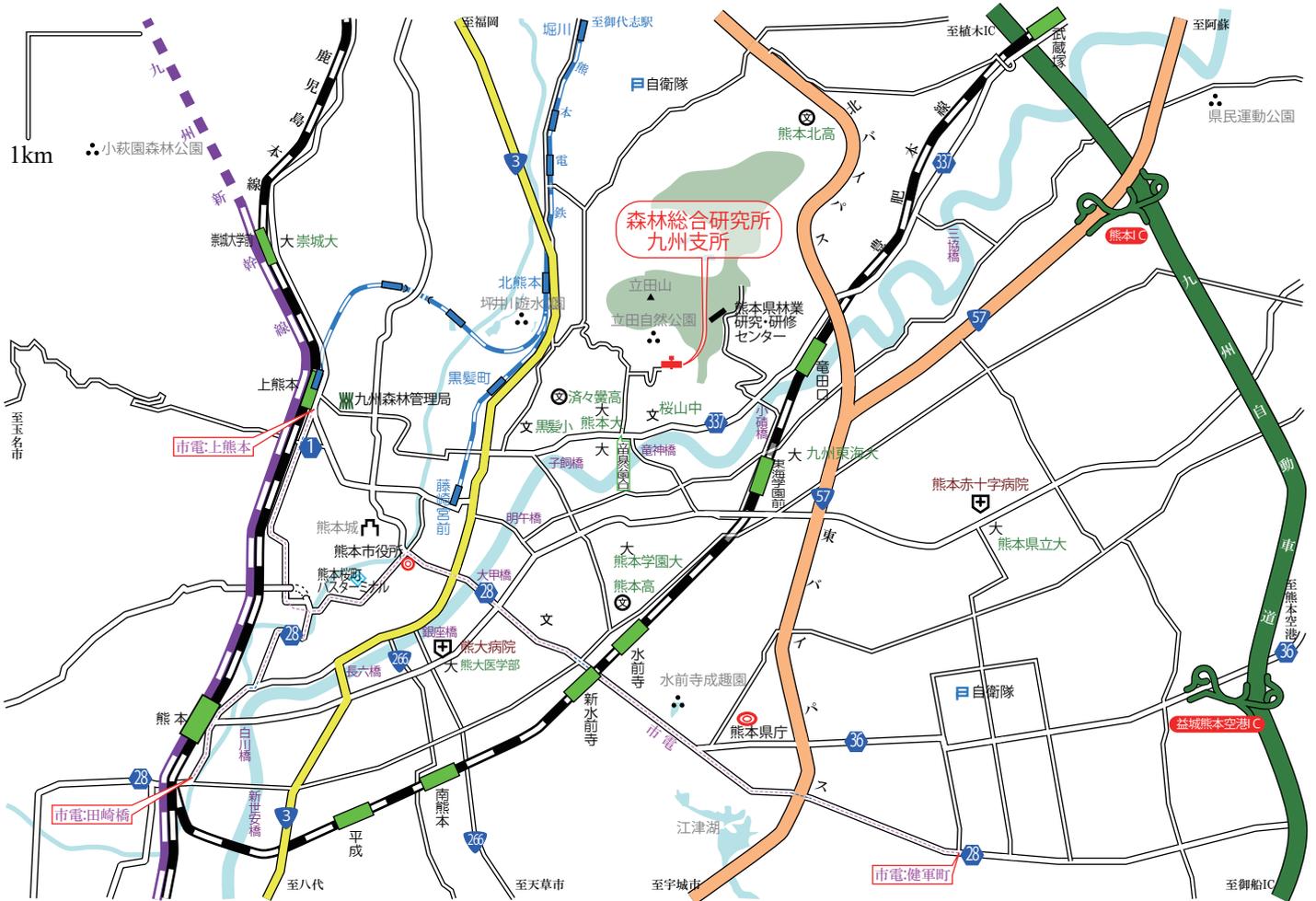
研究成果発表会  
一般公開  
立田山森のセミナー  
各種研修の受入

## 実験林・樹木園

熊本県・熊本市が整備した森林ミュージアム「立田山憩の森」の一部となっています。

## 森の展示館

土日祝日（年末年始を除く）に  
9時30分から16時30分まで公開しています。



国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所

〒860-0862 熊本県熊本市中央区黒髪 4-11-16

Tel:096-343-3168(代) Fax:096-344-5054

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/kys/>

最寄駅：JR豊肥線「竜田口」駅、最寄バス停：立田自然公園入口（徒歩10分）

